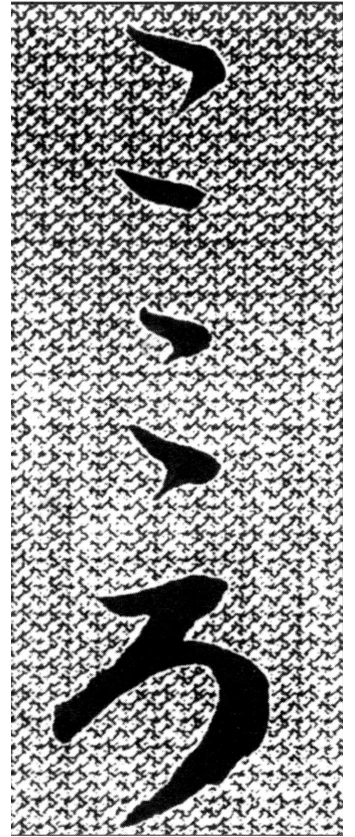


洋大同窓会設立50周年記念式典

世代を結ぶ明日への航路（みち）～きらめく。こころと～



50周年記念式典の準備は緊急事態宣言下で始まりました。そのため会議のほとんどをオンラインで実施という新しいスタイルとなりました。

テーマを『世代を結ぶ明日への航路（みち）～きらめく。こころと～』と定め、会場選びを始めました。50周年は同窓会にとって大切な節目です。セレモニーは厳粛に、その後の時間は美味しく楽しくを会場選びの必須条件として、結果、やはり同窓会の式典は「船」だと、ルミナス神戸2でのクルージングを会場に選定しました。

グループLINEも駆使しての意見交換を重ね、ついに当日、11月6日を迎えました。朝、神戸中突堤ターミナルは快晴。青い空、きらめく波、お天気の神様がこの式典を祝福してくれているように思いました。

実行委員を含めて参加者は106名。途中参加ができないクルージングは遅刻者が心配の一つでしたが、さすが洋大生。予定より前に無事乗船完了です。

12時、司会の兵庫18回の橋本恵さんが開宴を告げ、大家重明同窓会会長からの挨拶。公務・多用のためご出席いただけなかった齋藤元彦同窓会名誉会長に代わり城友美子兵庫県県民生活部長から心温まるお祝辞を頂戴いたしました。

遠く沖縄地区から出席された國吉眞哲さんからのメッセージ。2015年6月の同窓会員沖縄訪問が沖縄地区同窓会員の再会のきっかけとなったことなど沖縄と兵庫の間に続く縁についてお話しくださいました。

大家会長が『航路（み

発行所
兵庫県青年洋上大学同窓会
〒650-0011
神戸市中央区下山手通4-16-3
兵庫県民会館7階
TEL&FAX:078-891-7419
URL : http://hyogo-yodai.net/
E-MAIL : info@hyogo-yodai.net
発行人：大家 重明



ち)今日までそして明日へ』と題するプレゼンテーション。50周年を迎えることができた私たち同窓会が明日へ何を力強く発信されました。

会長経験者が、事後活動において顕著な働きをされた方を推薦し、みなで顕彰する洋大アワードでは、白神吾一さん(欠席)、富永千世さん、木村成明さんの3名が大家会長から感謝状を渡されました。

そしていよいよ会食です。兵庫県青少年本部長田賢一理事長に乾杯のご発声をいただき、楽しい食事の始まりでした。世代を超えた話の輪が広がります。

スペシャルゲスト「島袋サンデーズ」の皆さんが沖縄の歌などを演奏、会場をより盛り上げてくださり、明石海峡大橋が

見えてきました。同窓会活動が続いてきたのは歴代会長のお働きがあったからこそ。お名前を紹介し拍手で感謝の意を表しました。

みなさんのお楽しみ、抽選会は近畿21回の原健作さんが進行。この式典に一番に申し込んでくださった兵庫7回の尾上満子さんに見事特等のランチクルーズ招待券が当たりました。

プログラムも終盤です。副会長の松井豊仁さんが若い世代を代表してこれからの活動に対する決意を表明。「みんなでもう1マイル先の航路へ進みましょう」と締めくくりました。

いつもの『若者たち』をみなで歌う頃には中突堤の岸壁が近づいておりました。中川たみ子副実行委員長から閉宴の辞。15時。楽しい時は終わりとなりました。

この式典の実施にあたり、会場の株式会社神戸クルーザー様、多くの景品を提供してくださった株式会社アクアメント様には大変お世話になりました。また、県、青少年本部、青少年団体連絡協議会から多くの方々のご



【今号の「縁」は3面に掲載しています。】

出席を賜りました。改めて感謝申し上げます。秋の一日、皆さんの心はきらめきましたでしょうか。たゆみなき自己実現への航路を進み続ける限り、誰もが若者です。また同窓会活動でお会いできる日を楽しみに。

松永千香(兵18阪神)

いえしまにて50周年記念事業を実施 あの時の仲間 これからの仲間におおう

【前日】

9月23日朝、少し天気
が不安の中、1日早く施
設に先乗りしました。い

えしま自然体験センター
職員の一宮さんと各プロ
グラムの打ち合わせを行
い、実施に向けたシミュ
レーションを行いました

た。急な変更点もありま
したが、同窓会の要望に
合わせていただけまし
た。持ちこみ品と宅配で
送った備品を確認しなが

ら、掲示物の作成や現地
確認を行い、迎え入れ体
制の完了です。

この日に向け、スタッ
フは約1年かけて準備し
てきました。雨上がりの
家島は雲が多かったです
が、天気はどんどん回復
しています。

夜が明けて朝になり、
好天の下、参加者を桟橋
にお出迎え。さあ、50周
年事業の始まりです。
赤松浩一(近17東播磨)

【海へ】

初日の昼からはカヌー
やカヤックを使つての海
洋プログラム。同時に行
われる洋大カフェにも人

が流れると思いきや、ま
さかの全員参加！
カヌー班とカヤック班
に分かれ、早速湾内へ漕
ぎ出しました。始めは上
手く前に進めない船もあ
りましたが、皆すぐに慣
れ、湾口の大ヤケ島をぐ
るりと一周して帰ってき

ました。そこまで行ける
とは思っておらず驚きで
した。波も穏やかで、一
同、海を満喫していたよ
うです。やはり海は良い
ですね。

山下剛史(近11神戸)

【Cafe】

今回カフェを開催する
と決まった時、コロナ禍
なので、できるだけ不安
を和らげて、楽しんで
らうことを目標とし、ド
リンクは基本的にセルフ
サービス、マイカップを
持参としました。

厳しくするからこそ、
参加者には楽しんで欲し
かったので、テーブルに
は各船と飛行機の便名を
記入したポップを置くな
どの工夫をしました。

また、子どもたちに誰
かのためにおやつを作っ
て食べてもらう体験をし
て欲しいとの思いから、
春巻きや皮でラスクを作
りました。ラスクとドリ

【ナイトハイク】
夕食の後、センター職
員の案内と、懐中電灯の
明かりを頼りに、砂浜を
歩いて、再び、海へ。懐
中電灯を消すと、自分の
手がどこにあるかわか
らないくらい、真っ暗に
なりました。仕掛けをみ
んなで引つばると、青い
光。海ポタル！幻想的な
光景に皆引き込まれまし
た。海水ごとすくうと、
手のひらで光ります。珍
しい体験に大人も子ども
も大興奮の一時でした。

黒崎尚子(塾5東播磨)

【星空観察】
夜は幸いにも天頂に晴
れ間が広がり、「夏の
大三角」を見る事ができ
ました。その後は天体望遠
鏡で木星の観察。縞模様
や四つのガリレオ衛星も
見えました。これ程良く
見える事に驚かされていた
方も多かったように思
います。私自身、惑星を初
めて見た時は驚きと感動
でしたので、ぜひほかの
方にもこの感動を伝えたい
と思っていました。

【洋大居酒屋】
夜、大人向けにワイン
や日本酒など各種お酒と
つまみを楽しむ懇親会を
企画しました。初期のO
Bから養成塾の世代、子
どもと幅広い参加者の構
成でしたので、アイスブ
レイキングとして自己紹
介や顔と名前を覚えられ
るゲームを少し行い、場
が和んだところで居酒屋
がスタート。

沢山の差し入れもあり、
飲みながら食べながら
で世代を超えた交流が
できました。お菓子とジ
ュースをパクつきながら
外へ走り回る子どもも
盛り沢山のプログラムで
したが、参加者それぞれ
に楽しめてもらえたので
はと感じました。

赤松浩一(近17東播磨)

【地引網】
2日目は地引網。浜辺
から船で網を広げて、子
どもも大人も全員で力を
合わせて浜を走って網を
引っ張ります。浜から魚
は見えているのですが、
上手く逃げられてしまっ

たようで、かかった魚は
僅か。それでも、かかっ
た魚に子ども達は興味津
々。我先にと集めに行き
ました。

獲れた魚が余りに少な
かったので、急遽、2回
目も行いましたが、それ
でも残念ながら沢山は獲
れませんでした。とはい
え、小魚やイカが採れた
ので、昼食に食堂で調理
していただき、美味しく
いただきました。

井上清吉(兵26阪神)

【参加者の声】
カヌーで島をぐるると
周って海の上は気持ちよ
かった。
ウミホタルは小さかつ
た。いつまでも光ってか
わかった。手の上への
せてもらってうれしかつ
た。

みんなで力を合わせた
地曳網、走っているだけ
でも楽しかった。
世代・回生は違っても、
同じような体験をした。
皆様と2日間を過ごせて
よかった。

風がさわやか、空と
海と山の木々、青色、水
色、緑色そして雲の白
色や形。素敵な時間と空
間でした。

よく食べてよく動きま
した。ありがとう！



神戸マラソンボランティア

11月20日(日)第10回神戸マラソンの給水ボランティアに参加しました。神戸マラソンは2019年以来3年ぶりの開催となります。

同窓会の担当は、スタートして最初の給水ポイントとなる長田ブロック(5.1km)です。この醍醐味は、招待選手をはじめ、トップ選手が通過するのを間近で見ることができるところです。指定された場所では、



紙コップを配置し、飲み物を準備していきますが、コップを並べていると風で飛ばされる始末。時間が迫るなか、なんとか準備を終えました。スタート前の道路は警察車両が行き交いながら交通整理を行っており、緊張感が伝わってきました。そして、スタートの情報が流れると緊張が走ります。15分もするとトップ選手が通過し、その後の約2時間は戦場になります。

毎回想定しているもの、上着に飲み物をかけられるのは恒例です。集団の流れが落ち着くと、ランナーを応援したり、コスプレランナーに声かけしたりして、マラソンをサポートしていると実感できました。コロナ禍でもあり、人との接触や消毒など、まだまだ気を遣うこともありますが、無事に終えることができました。ボランティアで参加するのは楽しみですし、ボランティアアジャランパーなどもいただくことができ、重宝しています。また、有名選手のスペシャリストも生で見ることができて、貴重な機会になります。集合時間が早く、始発電車に乗って神戸まで来ていますが、終わったときの心地よさは格別です。来年も参加しようと感じています。

私自身、かつてはハーフマラソンで大会に出場していました。それから数十年が経っていますが、体調と体形維持のためにトレーニングをして、再びこの場所を走ってみたい気持ちになりました。長谷川和久(兵32西播磨)

「50周年記念洋大展」但馬地区で開催!

洋大展を県下の7地区で開催してはどうか?と、の大家会長の発案を得て、この夏7つの地区の先陣を切って但馬地区が洋大展を開く運びとなりました。

会場は豊岡市にある但馬文教府のギャラリーをお借りする事が出来ました!但馬文教府とは阪本知事時代に開設された但馬では文化の殿堂にして発信基地と言っても良い施設です。

会期は準備と片付けの日を併せて7月14日、20日までの一週間!借入費は7日間で3500円という破格の安さでした。「いつてらっしやい」横断幕に続いて「時の回廊」(洋大の記録)を開催年ごとに並べて、近年の同窓会事業や地区活動の記録、洋大ポスターや洋大ポロシャツを展示してパネル34枚。



パネル前の机には近年20年分の「こころ」と「マインド」、航海のアルバム。ふじ丸、ばしふいっくびいなすの資料、洋大事後報告、募集要項等を目いっぱい並べました。近くにお住いの1回生の方も駆けつけてくださり第1回の時の制服のスカートまで展示用にと持ってきて下さいました。同時に「こころ」の字が入ったアルバムも拝見。コメントがたくさん記入してあるので立派な航海記として読ませて頂いたりもしました。

今回は事務局から住所の判明する全同窓会員へ「忘れられない旅がある。50周年記念洋大展」のイラスト入りのチラシを配布して頂いたおかげで一般の方も含めて80数名の来場となりました。但馬版の新聞記事を見て大学洋上セミナー卒業生の方が見えたりという事もありましたが、それぞれ興味津々に観て頂けました。「息子に勧めたいので」と一時間近くも熱心に観て下さったお父さんには資料をたくさん持って帰って頂き、現在では船ではなく飛行機で行く「洋上大学海外養成塾」になっていきますと紹介したりもしました。特別に印象深いのは数年前の洋大展にも来てくださった香美町の井上さんの来場があり「『こころの絆』を但馬の多くの洋大参加者をはじめ、家族、地域の人達になつかしき、思い出、喜びを与えてくれた」としたためた過分なお礼の手紙を頂きました。洋大50年の間に紡いできた絆をもっと広く世間にアピールしても良いのではないかと。と考えさせられた一週間でもありました。村上隆司(兵25但馬)

縁

今から17年前、社長命令により訳も分からないまま、しかも現場が動いているにもかかわらず、決して大学生には見えない34歳の私は洋大生になりました。当然周りは若い大学生などが多く、なんだか場違いな所に来てしまった気持ちを打ち消すための参加でした。

しかしながら船上や中国大陸での活動を通して、ジェネレーションギャップを感じながらも同じ釜の飯を食う仲間みたいになり、船を降りてからもスタンブラリーやキャンプなど、色んな企画に参加するようになりました。楽しい事もありましたが体力的にしんどい事もありました。

この出会いが無ければ決して体験出来ない事や思い出が沢山で溢れました。現在私が体験した洋大とはかなり形が変わりましたが、他の方達にも同じような体験をしてもらいたいと思います。山本達也(兵29西播磨) ※次回は丸尾倫一さん(兵29東播磨)です。

イベント情報

最新の情報は、同窓会HPをご覧ください

【問合せ先】

本部事務局 : info@hyogo-yodai.net

阪神地区 : hanshin@hyogo-yodai.net

西播磨地区 : w_harima@hyogo-yodai.net

“フェスタ500”で
洋大展開催

こころ豊かな人づくり
500人委員会阪神北
B会、阪神北青少年本部
主催で青少年育成に関わ
る地域団体間の交流イベ
ントとしてフェスタ50
0が開催されます。阪神
地区では同窓会設立50
年を記念し、洋大に関す
る展示と簡単な工作(予
定)を実施しますので、
是非、お越しください。
スタッフも募集していま
す。

▼日時…1月29日(日)
11時~15時

▼場所…三田市まちづく
り協働センター

【問合せ】阪神地区井上

牡蠣を食す
第5弾

西播磨地区事業はコ
レ!2月5日(日)を予
定しております。詳細は
募集チラシにて。
【問合せ】西播磨地区長
谷川

沖縄交流

▼日時…2月17日~19日

▼会場…沖縄県

▼内容…沖縄地区会員と
の交流

▼募集…15名

【問合せ】本部事務局

早春を体感する
「いちご摘み」

▼日時…3月5日(日)

▼会場…神戸市北区大沢
ふれあい会館周辺

▼内容…いちご摘みと工
作づくり体験

▼募集…家族7組25名

▼参加費…大人2千8百
円、2歳以上2千円

【問合せ】本部事務局

ひょうご五国めぐり
「淡路編」

▼日時…3月26日(日)

▼会場…淡路市周辺

▼内容…ミステリーバス
淡路

▼募集…家族7組 25名

▼参加費…大人5千円

(2022年度会員は4
千円)、3歳以上2千円

【問合せ】本部事務局

50周年への
ご支援に感謝

同窓会設立50周年とし
ての歩みをより充実させ
るために特別寄付をお願
いしたところ、以下の方
からご寄付を賜りまし
う。ありがとうございます
(敬称略)

青山 勇造 (兵7)
足立 幸広 (近8)
足立 義美 (兵2)
新垣 隆子 (兵5)
飯田 登代子 (兵1)
家島 実枝 (兵30)
石川 佳代子 (兵5)

位田 八恵 (兵8)
井上 正 (兵5)
井上 倍行 (兵9)
入子 一輝 (近16)
岩崎 英俊 (兵30)
上野 祐司 (兵17)
遠藤 友美雄 (兵20)
大鍋 文宏 (兵22)
片山 啓 (兵18)
北山 泉 (兵6)
北山 弘義 (兵7)
旧北淡グループ
國吉 眞哲 (兵6)
久保 恭利 (兵1)
小東 清治 (兵5)
近藤 和仁 (近5)
坂本 好也 (賛助)
繁田 浩 (勤1)

清水 日保子 (兵5)
謝花 寛徹 (兵3)
砂川 信雄 (兵15)
瀬原 敬 (兵31)
竹内 裕文 (勤1)
田中 太一 (兵25)
谷 和憲 (勤3)
田村 暢一 (兵31)
時里 敬三 (兵26)
徳岡 信廣 (兵7)
中野 良子 (兵9)
中畑 廉一 (兵9)
長濱 英範 (兵3)
中山 五六 (賛助)
野村 則正 (兵7)
萩野 一美 (兵1)
橋本 清行 (兵2)
濱崎 さとみ (兵19)

浜田 芳人 (兵4)
原田 哲也 (兵9)
藤井 玉夫 (兵5)
松尾 政幸 (兵8)
松田 明弘 (賛助)
松永 千香 (兵18)
松本 佳子 (兵2)
宮艸 真木 (勤1)
村上 友江 (兵6)
吉岡 孝子 (近3)
由本 勇人 (兵17)



デザイby勇美由貴子

編集後記

50周年記念式典が「ル
ミナス神戸2」の船内で
行われた。短い時間では
あったが、青天の下、明
石沖までの穏やかな航海
を楽しめた。やはり洋大
は船と海が似合う、と思
った。(飛行機世代の会
員の方には御免なさい)
同窓会も半世紀を生き
て50歳。大家会長のプレ
ゼンもあったが、これか
ら、どのような道を進ん
でゆくのだろうか。

時を同じくして、30周
年、40周年記念式典で使
わせて貰った「ばしふい
つくびいなす」の運行終
了のニュースが飛び込ん
できた。コロナの影響だ
そうだが、寂しい限りで
ある。いつか、「ばしび」
でクルージングツアーに
参加したいと思っていた
のだが、叶わぬ夢となっ
てしまった。

ところで、本紙が届く
頃には優勝国が決まっ
ているだろうが、現在、サ
ッカーW杯の熱戦が繰り
広げられている。ドイツ
とスペインは旅したが、
コスタリカはまだであ
る。いつか行けるかな。
これは、まだ実現可能な
夢である。

山下剛史(近11神戸)

新春のつどい2023 1月15日県民会館で開催

前回に引き続き新春のつどいはコロナ
禍のため、完全オンラインで実施すること
にいたしました。YouTube配信で行います。

- 日時 2023年1月15日(日) 15時~16時
- 会場 兵庫県民会館
- 内容 会長挨拶 50周年を迎えて(10年の歩み)



今年のつどいの状況



HYOGO
50th Anniversary
2023

第19回から第23回の近
畿青年洋上大学に使用さ
れた「ばしふいつくびい
なす」が12月27日神戸港
出発、1月4日神戸港着
の「びいなすニューイヤ
ークルーズ」を最後に運
航を終了すると日本クル
ーズ客船株式会社より発
表がありました。

同船は最終寄港地神戸
港のあと、相生湾の石川
島播磨重工業のドックに
入るそうです。なお、同
社は事業終了後、解散手
続きに入るようです。

